

目標の柱	1	恵まれた自然環境と調和した生活空間の創造
基本目標(政策)	1-2	居住環境の整備・充実を図ります
基本計画(施策)	1-2-6	・多様なニーズに対応した住宅政策の展開

主管課・係	課	係
	建設課	建築営繕係
関係課・係	建設課	管理係
	農林課	林政係
	総合政策課	地域振興係

【施策の目的と取組・現状分析】

1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。	①ユニバーサルデザインを考慮し、かつ、地場産材を活用した安全で安心な住宅の建設が進んでいます。																																								
2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？	▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。 ①ユニバーサルデザイン(以下「UD」)を取入れた住宅の増加。 ②空き家バンク成約。																																								
3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A UDを考慮した町営住宅数(累計)</td> <td>戸</td> <td>34</td> <td>34</td> <td>34</td> <td>36</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>B 空き家バンク成約(累計)</td> <td>戸</td> <td>18</td> <td>23</td> <td>34</td> <td>※41</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		実績値	実績値	実績値	目標値	実績値	A UDを考慮した町営住宅数(累計)	戸	34	34	34	36	36	B 空き家バンク成約(累計)	戸	18	23	34	※41	44	C							D						
	単位			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																		
		実績値	実績値	実績値	目標値	実績値																																			
A UDを考慮した町営住宅数(累計)	戸	34	34	34	36	36																																			
B 空き家バンク成約(累計)	戸	18	23	34	※41	44																																			
C																																									
D																																									
4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？	5 令和4年度の目標値達成の見込みと方向付け																																								
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ①目標どおり</td> <td>計画どおり建設が進んだ。</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B ②上回った</td> <td>空き家のニーズ増加。</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ①目標どおり	計画どおり建設が進んだ。	/		B ②上回った	空き家のニーズ増加。	/		C		/		D		/																						
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																						
A ①目標どおり	計画どおり建設が進んだ。	/																																							
B ②上回った	空き家のニーズ増加。	/																																							
C		/																																							
D		/																																							
6 施策の目的に対して、今まで実施してきたことはなんですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・現在事業中の松下団地建替事業において、UDを取入れた計画としている。 ・空き家バンク登録物件を購入・改修する際に、一定の条件を満たせば補助金を交付している。 																																								
7 町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。	<div style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 </div> <p>町営住宅松下団地建替事業において、入居者、区長へ事業説明を行い、要望等を取入れた。</p>																																								

【施策の振り返り】

8 「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)	《成果》 <ul style="list-style-type: none"> ・メゾネット(住宅内に階段がある2階建て)形式を改め、平屋建てのUDに配慮した設計とした。 ・空き家バンクについては10件の契約が成立し、空き家が解消された。 《課題》 <ul style="list-style-type: none"> ・2階建てを平屋建てにすることで建築面積が大きくなり敷地面積に対する住戸数が減少した。 ・町内空き家総数に対して空き家バンク登録物件が少ないため、所有者等への周知に工夫が必要である。
9 本施策の類似性	<div style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 </div>
10 本施策の効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅といった建築物の性質上、外部委託等、内部事務の見直しの余地は無いと思われる。 ・空き家バンクについて、建築等の専門知識を要するなど事務への負担が大きいことから、外部委託を検討する必要があると考える。

【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

11 自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・現在実施中の町営住宅松下団地建替事業において、UDを考慮した住宅整備を行っていく。 ・空き家が増加している中で、空き家バンクの物件登録を促す。 ・空き家所有者と空き家を求める方がよりスムーズにマッチングできるような事業を展開していく。
------------------------------	--

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和5年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)			
			事業費(千円)			
			令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度予算額
01	町営住宅建替事業	建設課	目的	町営住宅松下団地の建替え。		
			概要	老朽化が著しく住環境が悪化している松下団地を建替え、良好な景観と住環境を提供する。UD化により地域木造住宅のモデル化を図った。		
			成果	UDの視点に立った14号棟を建設中。		
		建築営繕係	問題	建替え計画に沿って入居者の住み替えなどの協力が必要である。		
			対策	①継続 スムーズな建替えを行うため、入居者への情報の提供とコミュニティの形成を図る。		
			事業費	19,983	61,703	72,578
02	空き家等活用事業 (空き家等対策事業)	総合政策課	目的	過疎化や高齢化が進み空き家が発生している状況で、空き家バンク等の活用により、地域の良好な景観の保全と住民の安全安心な暮らしを確保するとともに、地域振興に寄与する。		
			概要	空き家バンク制度の整備。		
			成果	10件の契約が成立した。		
		地域振興係	問題	空き家バンクに物件登録を希望する所有者が少ない。また、相続等の問題で登録できない物件もある。		
			対策	①継続 所有者等の理解を得るための啓発活動を図る。		
			事業費	0	0	0
03			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
04			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
05			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
06			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
07			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
08			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
事業費の合計(千円)			19,983	61,703	72,578	74,162